

【SO-SOプロフィール】（株式会社COCO Gallery提供）

- ・DJ、音楽プロデューサー、ヒューマンビートボックス
- ・代表曲「SO-SO Exercise」をはじめとしたダンスミュージック主軸の楽曲をビートボックスサウンドのみで制作し多数リリース
- ・国内最大級の音楽フェス「GMO SONIC 2025」では、ALAN SHIRAHAMAとB2Bsetで圧巻のDJパフォーマンスを披露。また、G Jones、Ray Volpe、Chase& Statusといった海外DJの日本公演を多数サポートしている
- ・弱冠15歳で始めた彼のバックグラウンドであるビートボックスシーンにおいては、これまでにアジアチャンピオンや世界チャンピオンなど様々なタイトルを獲得。ビートボックス世界大会「Grand Beatbox Battle 2019」では日本人史上初出場・TOP4の快挙を成し遂げ、その後令和3年にはタッググループステーション部門にて、令和5年にはクルー部門にて、それぞれ世界チャンピオンに輝く
- ・これまでリリースしてきた楽曲は全て彼のビートボックスサウンドとワールドレコーディングした環境音素材のみにより制作され、独自の世界観を演出
- ・令和5年、Hey! Say! JUMPへの提供楽曲がビルボードジャパンにて1位を獲得するほか、JTやNTT DOCOMO Studio & Liveなど国内企業への楽曲書き下ろしのコラボレーションも多数実施し、高い評価を受けている